

「十三」

令和元年度 第4号

笑顔と感動を届けるために

教務主任 早瀬 勝

「届けよう笑顔と感動～新時代へのメッセージ～」のテーマの下、学校祭が行われました。生徒会を中心に、充実感あふれる「笑顔」を目指して、準備を進めました。

合唱では、歌に込められたメッセージを聞いている方々にいかに伝えるかを考え、言葉の発音や顔の表情にも気を配り、日を追うごとに歌声が充実していきました。また、昨年に取り組み続けたボディパーカッションでは、運動会の団ごとに3年生が中心となって1、2年生をリードし、学年の枠を超えて一体となった演技を披露しました。



全校合唱

各学年の「総合的な学習の時間」の発表では、自分たちのふるさとをテーマに、1年生は十三校区の歴史や自然、2年生は十三校区の事業所で行った「14歳の挑戦」での学び、3年生は住みよい氷見市となるための提言について発表し、それぞれに社会の一員としての自覚を高めた姿を披露しました。



ボディパーカッション

係としての自覚をもち、保護者や地域の方に楽しんでもらえるように頑張った係活動。普段とは違った一面を見せ、一人一人が潜在能力を発揮して観客を楽しませたオンステージ。そこには、相手意識をもって、自分だけでなく周りの人たちも楽しめる場を目指して力を発揮しようとする姿がありました。そして、自然と笑顔のあふれる温かな学校祭となりました。

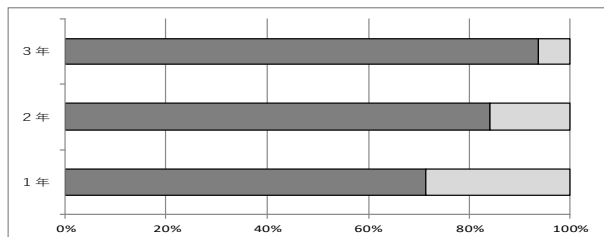
保護者の皆さま、地域の皆さま、本校の学校祭に対し、多大なご協力をいただき、ありがとうございました。

◆◆◆ 学校祭を振り返って ◆◆◆

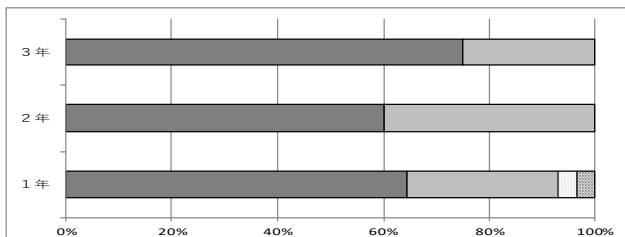
学校祭後の生徒アンケートの結果をみると、どの学年の生徒も係の活動やステージ発表の練習に主体的に取り組み、自分の力を出し切ったと回答しています。生徒一人一人が自分の役割を考え、仲間と共によりよい学校祭を作り上げた達成感を感じたようです。

■: 4よくできた □: 3だいたいできた □: 2あまりできなかった ■: 1まったくできなかった

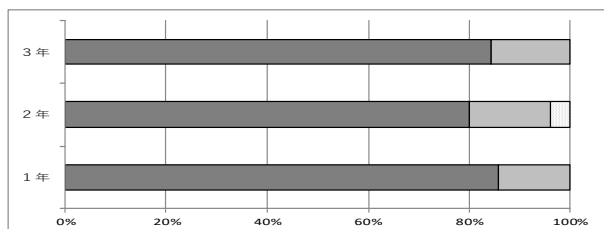
○みんなで協力して、うれしいと感じることができたか。



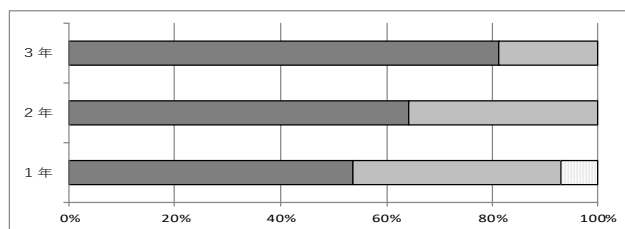
○ステージ発表の練習に主体的に参加し、自分で考えて取り組むことができたか。



○当日のステージ発表では、全力を出し切ることができたか。



○係の活動に主体的に参加し、人の役に立つことができたか。



【生徒の感想】

1年生の発表では、自分たちで情報を集め、自分たちでまとめることができた。ステージでは、一人一人が大きな声で発表していたと思う。
(1年 ■■■■)

全校生徒で心をつなげて練習の成果を発揮することができた。また、学年合唱ではスラスラと、しっかり伴奏することができた。
(2年 ■■■■)

ボディパーカッションは、昨年の成果を生かし、さらにアレンジを加えたものを一生懸命に取り組んだ。新たな伝統ができてよかった。
(3年 ■■■■)

英語スピーチはみんなの前で堂々とスピーチしていて素敵だった。自分ももっと学習して、ぺらぺらに話せるようになりたいと思った。
(1年 ■■■■)

オンステージは、先輩方が全員で盛り上げていて、とても楽しかった。来年は少し心配なところがあるけれど、頑張りたい。
(2年 ■■■■)

開祭式、オンステージで司会を務めた。家で何度も練習し、本番は失敗なく読み切ることができた。
(3年 ■■■■)

【保護者の声】

入学当初より、少しは成長したところも見られ、うれしく思った。自信をもって、次の活動につなげてほしいと思う。
(1年生保護者)

作品展示では、こんなことにも取り組んで頑張っているのだと知ることができてよかった。
(2年生保護者)

合唱・ボディパーカッションでは、3年生の最高学年としての成長が感じられた。皆の真剣な表情や笑顔が素敵だった。
(3年生保護者)

◆◆◆ 学校祭の様子 ◆◆◆



【1年生】↑合唱 ↓発表



【2年生】↑合唱 ↓発表



【3年生】↑合唱 ↓発表



展示室（2年動画作品）



オンステージ



縁日コーナー



係活動（カフェテリア係）



係活動（募金係）



閉祭式（フォークダンス）